

令和7年度 学校教育自己診断(生徒) 考察

過去3年間の平均と比べて、特に顕著に変化した項目

- 八尾高校は、生徒1人1台端末を効果的に活用している。(+21.0%)
先生方が授業等で**生徒1人1台端末を活用することが当たり前になりつつある現状と、ICTを積極的に活用する先生が増えた**影響によって、高い評価が得られたと考えられる。

3ヶ年以上、高水位で推移している項目

- 私は、八尾高校に入学してよかったと思う。
自由記述に「楽しい」という意見が多く寄せられていることと併せて考察すると、多くの生徒が学校生活に満足していると言える。
- 八尾高校の先生は、学校生活について生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。
単に指示に従わせる「他律」的な指導ではなく、**生徒が自ら考え行動する「自律」を重んじる柔軟な姿勢**が支持された結果と言える。この評価は、学校生活全般への満足度（設問1：95.5%）や、いじめ対応への信頼度（設問4：96.0%）といった項目とも深く関連していると考えられる。
- 八尾高校では、生徒の興味・関心・適性に応じた情報を提供し、将来の進路や生き方について考える機会をつくっている。
進路マップに基づいた、3年間を見通した体系的な指導が機能している結果と言える。適切な時期に情報を提供することで、生徒自身が進路や生き方と真剣に向き合い、深く考える環境が整えられている点が高く評価されている。
- 八尾高校の先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。
いじめアンケートをはじめ、先生方が普段からきめ細かい指導を行っていること、**いじめの疑いがある際には迅速に、かつ組織で対応**していることが高く評価されている。
- 八尾高校では、文化祭や体育祭などの生徒会行事が、生徒会を中心に組織的に運営されている。
学校行事が生徒会を中心に円滑かつ効果的に運営されていることがわかる。また、学校行事への主体的な参加（設問8：96.1%）が高水準であることから、**行事運営の質が生徒の参加意欲と満足度の向上につながっている**ことが伺える。

3ヶ年以上、低水位で推移している項目

- 私は、授業や定期考査に備えて、予習・復習・宿題など家庭学習を十分行っている。
肯定的割合は過去3年間の平均と比較して8.1%増加しているものの、依然として低い水準にとどまっている。そのため、学習習慣を身につけさせるためには、**単に学習を促すだけでなく、生徒自身が「やってみたい」と思えるような、前向きなきっかけづくりが重要**である。具体的には、学習時間の可視化やクラス内順位を確認できるアプリの導入、スタディサプリなどICTを活用したモチベーション喚起策が考えられる。